

大草谷津田生きものの里 自然観察会

夏の谷津田はムシ天国

遠藤登志子（千葉市）

日 時：2022年7月17日（日）9:30～11:00 天候：曇りのち雨

参加者：22名（大人11名 子ども11名）

担当指導員：木下 松本 遠藤(登)

今回は熱中症を心配して、開始時刻を1時間繰り上げて実施することにしました。しかし、心配は暑さではなく、雨になりました。全国各地で昨夜から大雨が続き、千葉市も朝まで降っていました。予報では、午前中は晴れ、でしたが、開始直前からポツポツ降りだしてきました。

止むことを期待しつつ、昆虫や、クモ・多足類・カタツムリなど 生き物を9グループに分けた表とシールを家族単位で大人に持ってもらい、子どもたちが見つけたものにシールを貼るようにしました。ニイニイゼミの合唱の下を出発すると、すぐに湿った道の上で、黄色い細長いオオミスジコウガイビルに出合い大人も子どももびっくりです。ラーメンみたい、頭の形、面白いと話しながら歩くと、次々に6匹もいました。

杉林があった場所は、今は草原になっていてバッタやムシが元気です。あるお母さんが「今日は本物の生きてるムシ探しだよ」と子どもに声をかけていました。当選して嬉しいと言っていたお母さんです。子どもも 手助けする大人も網を振るのに熱中しました。モンシロチョウ・キタキチョウ・アゲハ・シオカラトンボ・ショウリョウバッタ・カナヘビ・トカゲ・アオバハゴロモ幼虫と成虫・カメムシたちの幼虫・今年生まれのアズマヒキガエルやアマガエル・ムシヒキアブなどたくさんみつけました。

意気揚々と先に進んでめじろんばを左に行くと、いつもは明るい谷津田が開けるのに今日は薄暗く、また雨が降りだしました。すぐに激しい雨になり、木の下でしばらく雨宿り。雨雲レーダーでも止みそうにないことから各班で連絡をとって、引き返すことにしました。雨のなかの自然は、普段 体験できないが、今日はそういう意味でよかったとの感想も帰りながら聞かせてもらいました。

中断は残念でしたが、また大草に来るよう話し、散会しました。



オオミスジコウガイビル



雨宿り中にニイニイゼミを捕まえた女の子は元いたこのササに戻しました